

「シャインマスカット」の無核化にはストレプトマイシン処理が有効
茨城県農業総合センター 園芸研究所

ブドウの無核化（種なしにすること）は、主にジベレリン処理によって行われます。しかし、注目の新品種「シャインマスカット」（写真右）はジベレリン処理のみでは種子が残りやすい性質があります。そこで、無核化率向上に効果のあるストレプトマイシン処理により「シャインマスカット」においても無核化率 100% にすることができました。



ストレプトマイシン処理による無核化率向上

「シャインマスカット」は、ストレプトマイシン処理を行うことにより、ジベレリンのみの処理と比較して無核化率が向上します。

表 1. ストレプトマイシン処理が「シャインマスカット」の無核化率に及ぼす影響 (H20)

処理区	処理方法			無核化率 (%)
	満開 14 日前	満開期	満開 10～15 日後	
散布	SM 花房散布	GA 花房浸漬	GA 果房浸漬	100.0
浸漬		SM 加用 GA 花房浸漬	GA 果房浸漬	100.0
無し		GA 花房浸漬	GA 果房浸漬	91.7

注) SM: ストレプトマイシン (200ppm)、GA: ジベレリン (25ppm)
無核化率は全体の果粒数に占める種なし粒の割合

果実品質には影響を及ぼさない

散布処理・浸漬処理いずれのストレプトマイシン処理も、「シャインマスカット」の果実品質に影響を及ぼしません。

表 2. ストレプトマイシン処理が「シャインマスカット」の果実品質に及ぼす影響 (H19・20 の平均)

処理区	1 粒重 (g)	糖度 (Brix%)	酸含量 (g/100ml)	縮果粒率 (%)
散布	16.3	18.4	0.26	26.6
浸漬	16.4	18.2	0.26	23.3
無し	15.9	18.2	0.27	24.1

注) 処理区の詳細は表 1 参照

現場でも効果を確認

現地の試験栽培圃場でも、ストレプトマイシン処理を行うことにより無核化率が向上しました。

現場でも 100% 種なしの「シャインマスカット」生産が可能となりました。

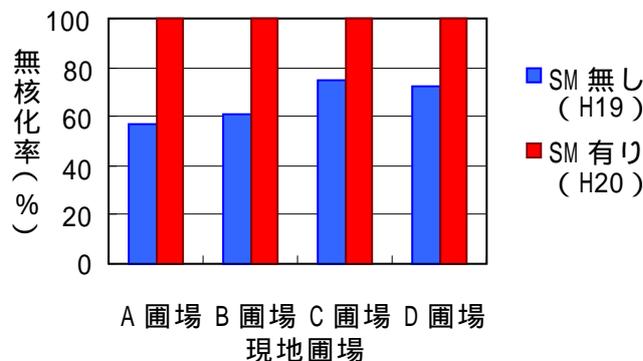


図. ストレプトマイシン処理が「シャインマスカット」の無核化率に及ぼす影響

注) ストレプトマイシン (SM) は 1 回目のジベレリン処理に加用して花房浸漬処理